2010年（平成22年）10月29日（金曜日）　夕刊 矢祭
（NO，10645）　赤口（旧 9月22日）
夕刊矢祭新聞社　日刊（日曜・祭日・第二・第四土曜休刊）　月額1，000円
矢祭町東舘字桃木町42-2　発行人 菊池正典　☎46-3508　昭和57年12月6日第3種郵便物認可

秋の季語を探し「吟行」
矢祭山公園でジュニア俳句スクール

町教育委員会主催の二〇一〇秋・矢祭ジュニア俳句スクールは、二十四日午前九時半から矢祭山公園内の総合公園内施設にお散策しながら開き、俳句作りに挑戦した。

子どもたちに自然の豊かな感触や素晴らしさに触れてもらい、豊かな感性を育んでもらうことで、将来への夢や希望を持ち、自然を大切にする気持ちを表現してもらうことをねらいとした。

そして、親子のふれあいの中から段階を図り、親子一緒に楽しめる機会をつくることを目的として今年で第二回目を開き、小学生の親子二十六人が参加した。

初めに金沢昭矢祭

厳島神社に大太鼓を奉納

高野谷地区 菊池英雄氏（成田工業（有）社長）

菊池美智男区長ら役員は社標寄進

今年は異常気象ということで稲作の生育が心配され収穫に不安を残したが、町内各所では十月十七日に収穫を祝う秋祭りが執り行われた。

高野谷地区の厳島神社でも祭礼を開いたのを機に、地元有志から氏神様への奉納の披露があった。

鏡石町に会社を興した成田工業（有）社長の菊池英雄氏が創業十周年を記念して大太鼓（原木のけやき材で調製）を奉納した。

更に高野谷地区長の菊池美智男氏、副区長の菊池清司氏、神社総代の菊池正徳氏、増子伸義氏、菊池義雄氏の五人からは石製社標が寄進され、新しく再建し当日立派に完成披露された。

なお大太鼓は只見町の星木工所にて謹製した「けやき」のボラを利用したもので、一本の木から三個の大太鼓が製作され、他は宝坂の祖霊神社と神明殿に納められた。

町商工会設立五十周年記念事業・経済講演会

矢祭町商工会設立五十周年記念事業・経済講演会は、十一月十九日午後一時三十分からユーパル矢祭を会場に開く。日本銀行福島支店長の豊田猛夫氏を講師に迎え「県内の金融経済動向について」と題して聴講する。

豊田支店長は大子町出身で、これからの経済情勢について様々なお話を聞くことができるので、多くの参加をと呼びかけている。入場料は無料。

▼矢祭詩吟の会は、あす三十日午後七時から町中央公民館で開く。

▼全国ふるさとフェア2010は三十日・三十一日横浜・赤レンガ倉庫イベント広場で開催し、全国のグルメ、観光PR、地元の文化・郷土の紹介、特産品販売などが行われる。矢祭町からはユズベリー、イチゴベリー、トマトベリー、鮎マリネ、イワナ燻製、こじはんを出展する。

▼あす三十日は町内全五小学校で学習発表会を開く。

東舘幼稚園児が収穫したサツマイモを調理会食もりもりパーティー

東舘幼稚園では園児が自分たちで苗植から堀り取り作業まで体験し収穫した大きなサツマイモを調理し会食するパーティー「もりもりパーティー」を開いた。

保護者十二人の協力により、テラス、園庭にて、さつまいもをクッキングストーブ（うどん）、焼き芋、もち取り組みをおいしく食べるなど、にぎやかに楽しく遊び進めた。

むちなグループ作業では園児たちが自分たちで収穫した用意されたサツマイモを調理し会食するパーティー「もりもりパーティー」を開いた。

保護者十二人の協力により、テラス、園庭にて、さつまいもをクッキングストーブ（うどん）、焼き芋、もち取り組みをおいしく食べるなど、にぎやかに楽しく遊び進めた。

むちなグループ作業では園児たちが自分たちで苗植から堀り取り作業まで体験し収穫した大きなサツマイモを調理し会食するパーティー「もりもりパーティー」を開いた。

園児たちは自分たちで収穫した用意された